

2019年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書


- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 荻田町 】

学校名 【 荻田町立白川小学校 】

1 実践テーマ	①・II・③・IV・V（複数選択可）
2 実施対象者 (学年・人数)	<p>【11月11日】3・4校時「木谷隆行氏 学習会（ボッチャ）」 4年（14名）・5年（11名）・6年（13名）</p> <p>【1月27日】2・3・4校時「パラリンピックって何だろう？」 2校時 4年（14名） 3校時 5年（11名） 4校時 6年（13名）</p> <p>【1月31日】2・3・4校時「学習のふり返りとボッチャ体験」 2校時 4年（14名） 3校時 5年（11名） 4校時 6年（13名）</p>
3 展開の形式	<p>(1) 学校における活動</p> <p>① 教科名（ 総合的な学習の時間 ・ 体 育 ）</p> <p>② 行事名（ ）</p> <p>③ その他（ ）</p> <p>(2) 地域における活動</p> <p>① イベント名（ ）</p> <p>② その他（ ）</p>
4 目 標 (ねらい)	<p>オリンピックの価値である「努力する喜び」「他者への尊重」「卓越さの追求」「フェアプレイ」「他者への尊重」等を理解させ、心身共に健やかな児童を育成する。パラリンピックの精神としての「チャレンジ」「フェアプレイ」「心身の健全」等を学ぶことや、勇気や希望を大切にしている人間性を育むとともに、障がい者スポーツの意義を理解し、共生社会を形成する児童を育成する。</p>
5 取組内容	<p>本校では、4年生の総合的な学習の時間で福祉教育を実施している。その中で、「障がい」や「バリアフリー」について、学んだことと関連づけて取組を行った。</p> <p>【11月11日】3・4校時「木谷隆行氏によるボッチャ体験学習」</p> <p>事前に、オリンピック・パラリンピック教材「アイムポッシブル」を活用し、パラリンピックの競技「ボッチャ」についての学習を行い、児童に学習意欲をもたせた。当日は、リオデジャネイロパラリンピックの銀メダリスト木谷氏を招聘し、パラリンピックやボッチャの話・実技等を指導していただいた。その結果、児童のオリンピックやパラリンピックに対する興味・関心を高め、知的理解を深めることができた。</p>



	<p>【1月27日】2・3・4校時 「パラリンピックって何だろう？」 オリンピック・パラリンピック教材「アイムポッシブル」を活用し、リオデジャネイロパラリンピックの様子をDVDで視聴し、オリンピック・パラリンピックについて興味をもたせた。そして学んだことをもとに、児童一人一人が、オリンピック・パラリンピックに関するクイズをつくっていった。児童は、さらに興味を高め、「夏の開催を楽しみにしている。」といった声も出された。</p> <p>【1月31日】2・3・4校時 「オリンピック・パラリンピックについてまとめよう」 前回までの学習の感想を、プリントに各自がまとめて、教室に掲示を行った。そして、木谷先生からのアドバイスを生かして、ボッチャの体験を行った。本学習を通して、児童はパラリンピックに興味をもち、特にボッチャを観戦したいという気持ちを高めていた。</p>	 <p>【子どもが作ったクイズ】(6年児童) ○東京パラリンピックの新競技はなんでしょう。 答え バドミントン・テコンドー ○ボッチャで、1番はじめに投げる白いボールの名前は？ 答え ジャックボール</p> <p>【児童の感想】(6年児童) オリンピック・パラリンピックのエンブレムの意味は、「多様性と調和」のメッセージがこめられている。このことを知って、デザイナーの方の思いが伝わってきました。</p>
<p>6 主な成果</p>	<p>○児童は、「オリンピックは、勝つことよりも、参加することに意義がある」というオリ・パラの精神について学ぶことができた。 ○「2020年のオリンピックが楽しみだ。」「ボッチャをまたしたい。」という児童の感想が多く見られた。オリンピック・パラリンピックのことについて興味をもたせることができた。</p>	
<p>7 実践において工夫した点(事業の特色)</p>	<p>○4年生が総合的な学習で行っている福祉教育の学習と関連付け、調べ学習の場を設定することで、児童の障害者スポーツについて関心を高めることができた。 ○実際に、リオデジャネイロパラリンピックの銀メダリスト木谷氏にお越しいただき、パラリンピックの話やボッチャの話・実技等を学ぶことで、オリンピックやパラリンピックに対する興味・関心を高め、知的理解を深めることができた。</p>	
<p>8 主な課題等</p>	<p>○学校行事や教科等と関連して、事業を計画的に実施する必要がある。 ○実践テーマⅠ・Ⅲで、事業を計画実施したが、スケジュールが厳しく、結果的にできることに取り組む形となった。日程調整が必要である。</p>	
<p>9 来年度以降の実施予定</p>	<p>○オリンピック・パラリンピック教材「アイムポッシブル」を活用した授業を構想する。オリンピック・パラリンピックへの興味関心や知識をさらに膨らませたい。 ○パラリンピックの競技ボッチャの体験を通して、全校児童にオリンピック・パラリンピックの機運を高める。 ○学んだことを教室やホワイトボードに掲示して、地域の方や保護者にもオリンピック・パラリンピックについて発信を行う。</p>	